

「入間市役所等整備計画（原案）」に係る意見一覧

「入間市役所等整備計画（原案）」のパブリックコメント（平成31年1月18日～2月28日実施）で提出された意見と市としての対応方向は以下のとおりです。

No	ページ	箇所	意見	対応方向
1	5	(6)スケジュール	<p>○プロセスの透明化とプロジェクトマネジメントの在り方 1月19日市民説明会に参加しました。説明では市庁舎建替えの方向性すでに固まっているように思われました。今後の建替えに向けた進め方の提案・要望です。建替え検討は、これまで某設計会社へ外注委託されていたようですが、建替え案の構工法が地震構造の説明で、地震構造を否定はしませんが過程が理解できません。他市でも庁舎建替え検討は行われています。庁舎建替え検討の進め方は他市事例も参考に、市民の立場を十分理解し、用途機能としての在り方そして市民に親しまれる庁舎建設検討を期待します。そのためには、建替え検討のプロセス（調査設計→基本設計→実施設計→工事発注→工事監理）の透明化です。様々なステークホルダーに対して、合理的かつ客観的にプロセスを説明するのは行政(市)としての責任であり、プロセスの透明化は重要です。進め方はいろいろあると思いますが、初期段階から住民参加型でのタイムリーな公開ワークショップです。特に市の大事な予算(財産)である投資コストの透明化です。</p> <p>工事費は基本設計段階でほぼ八割が確定すると言われます。コストの検討は、インシャルコストのみならずメンテナンス維持管理を含めたライフサイクルコスト、またファイナンスも重要なファクターです。設計初期段階から幅広い知見と提案で多様なニーズに対応して頂きたいと思えます。ところで地方都市においては、調査から設計及び工事監理に至るまで、プロジェクトマネジメントの出来る技術者不足が懸念されています。○市はどのように？最近の設計者及び施工者の選定に於いては、CM方式は官民を問わず、大きな広がりを見せ公共工事への採用も増えています。自治体への波及は品確法の改正もあり、技術者不足の地方自治体では、適格な設計者・施工者の選定が自前では難しく、発注者支援(量的補充 質的補充)の方法の一つとしてCM方式が活用されています(別途 CM業務を委託するためのCM会社選定の公平性あるプロポーザルが必要)現在、国も多様な発注方式を模索し、CM制度化に向けた検討を行っています。客観的立場で業務領域広く経験豊富で熟知したプロジェクトマネジメントのできるCM方式での設計者及び施工会社選定で透明性 妥当性を期待します。</p> <p>追伸)庁舎建替え計画において、既存駐車場は残し利用されるよう適正な判断だと思います。しかし、現駐車場棟の維持管理の現状はどうでしょうか？建物は鉄骨の耐火構造ですが、鉄骨部プレースの耐火被覆材の剥離痛みが方々で視られ、雨水排水溝に詰まり支障かたしています。今更ですが設計時の耐火被覆材選定と施工方法は適切だったのか問題です。市予算のこともあるのでしょうか、早急な是正処置が望まれます。この建物に限らず公共建築の的確な維持管理されることを期待します(早めの是正対応は、後々の維持管理費低下に繋がります)</p>	<p>市役所は市民の皆さまが利用する施設ですので、使いやすく親しまれる施設であることが求められていると認識しています。このことから、今後のプロセス(基本計画・基本設計)において、市民の皆さまからご意見をお聞きする仕組みを検討していきます。</p> <p>庁舎の一部を建て替えるということは、入間市にとって一大プロジェクトであると考えています。</p> <p>また、このプロジェクトのマネジメントについては、ご指摘のとおり幅広い知識や経験が必要であることは事実です。このことから、ご提案をいただいたCM方式についても検討したいと考えます。</p> <p>※CM方式(Construction Management) 発注者の補助者・代行者であるコンストラクションマネージャー(CMR)が、技術的な中立性を保ちつつ、発注者の側に立ち、設計・発注・施工の各段階において設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、法令遵守などの各種マネジメント業務の全部又は一部を行う方式です。CM方式を活用することで、発注者の体制・能力の質的・量的補充を図ることができます。</p>
2	26	2 市民ワークショップでの検討結果	<p>P26「市民ワークショップでの検討結果」については、「今後策定する基本計画や基本設計の段階で反映する考えです」と明示されましたが、大変貴重な意見だと思えますので、必ず反映していただきたいと強く要望します。</p>	<p>施設整備に向けては、これまでいただいた市民意見や市民ワークショップでの検討結果に加え、今後市民の皆さまからご意見をいただく仕組みを検討していきます。その上で、多くの市民の声であるコストをかけない点も考慮します。</p>
4	(3)新庁舎の建設用地	<p>「新庁舎の建設用地は、現在の市役所敷地内とし、来庁者用駐車場を活用して建設」することとなっておりますが、新庁舎建設中の駐車場の確保について回答をお願いします。</p> <p>市民ワークショップでの検討結果を踏まえると、1次品質「誰もが利用しやすい」、2次品質「利用者を選ばない」となっていますが、新庁舎建設中の駐車場が市役所敷地外となった場合、施設整備が完了するまでの間、「子連れでも利用しやすい」や「高齢者・障害者でも利用しやすい」といった3次品質が損なわれるように感じます。</p> <p>市民説明会の場では、整備計画確定後に検討するという回答をいただきましたが、新庁舎建設中に来庁者の利便性を確保するために、先行的かつ具体的に検討しておく必要があると考えます。</p>	<p>新庁舎建設中の駐車場については、敷地内の空地や近隣の公共施設などを活用して確保したいと考えます。</p> <p>「入間市役所等整備計画」については、耐震化に向けた施設の整備方法をお示しました。新庁舎建設中の駐車場確保に係る具体策については、次のステップである基本計画および基本設計においてご意見を踏まえて検討してまいります。</p>	
3	14	2 整備パターンを設定	<p>パターン3の派生として、市民会館を「耐震補強+大規模改修」する案についても検討したとのことですが、検討の経緯及び詳細について回答を求めます。</p> <p>※30年間の維持管理費を加えた総コストの比較では、市民会館を「耐震補強+大規模改修」する案にメリットがあるように感じます。現時点では、中規模改修として向こう20年程度使い続けることを想定して事業費を見込んでいるとのことですが、事業費のさらなる精査を行う上でも、市民会館についての中規模改修と大規模改修に関する比較・検討が必要であると考えます。</p>	<p>4つのパターンのうち、パターン2、3、4については、市役所と市民会館の整備内容や事業費を入れ替えることができるように設定しました。</p> <p>パターン3は、両施設をできるだけ早く耐震化することを想定し、市民会館は中規模改修としています。25年後には学校の統廃合等により市民会館を建設する土地が生み出せることを想定しています。一方、パターン4は、既存施設をできるだけ長く使い続けることとしています。このように整備コンセプトを変えることで、維持管理費を含めて長期的に要するコストの違いを検証しています。</p> <p>次の段階では、市民会館の改修レベルを再検証します。特に、既存施設を使い続けるためには、法令適合を図るため、より詳細な調査を行うとともに、埼玉県と協議し必要な工事を盛り込む必要があることから、基本設計において内容を再確認します。</p>
4	32	今後の進め方	<p>市役所の立て替えについて、当初は改修でいいのでは！と思っていたが、計画をよく読み、概ね賛成する気持ちになりました。民間活用(PFI方式)の採用により、費用の抑制は必須。現市役所のようなIFエントランス吹き抜けは不要。エコな設計・施設にして欲しいです。又、ソーラー発電等、災害にも強い施設、市民がゆとり活用しやすい、集いやすい喫茶室など(バリアフリー)であると良いと考えます。(市民目線を大切にしてください！)</p>	<p>施設整備に向けては、建設費に加え維持管理費が少ない方法を検討してまいります。また、民間活力の活用でコストダウンができるかについても検討いたします。</p> <p>施設に備える機能については、基本計画および基本設計の段階で、市民意見をお聞きしたいと考えています。</p>
3	入間市役所の整備に向けた基本方針	<p>1. 市役所の耐震化は建替えでなく、耐震補強で実施すべきと考えます。以下その理由について述べます。 1市役所及び市民会館の耐震化については、早急に対応しなければならない課題、安全性の確保が喫緊の課題であるとしていますが、耐震化は急ぎ行う必要があると考えます。 2しかし、建替えによる耐震化事業を完了するには、スケジュールで2019年から27年(9年)を擁し、緊急対応といえませんが、耐震補強ならば4年程度で完了できると考えます。</p>	<p>建替えの場合、新庁舎の供用開始時期は2025年を想定しています。また、この場合、全体の工程では9年要しますが、新庁舎建設後約3年間はA・B棟の解体工事ですので、耐震化は2025年となります。</p> <p>耐震改修の場合は、2024年にA・B棟の工事が完了する予定です。</p> <p>従いまして、耐震化が完了する時期の差は1年となります。</p>	
15	3 シミュレーション結果	<p>2. 事業費の比較について 1市役所建設費のパターン3(建替え)とパターン4(耐震改修)の費用の差が1.5億円となり、信じがたい。建替えの項目別事業費は4ページに示されているが、耐震改修の項目別事業費がなく、比較できる工事内容ごとの資料を示してほしい。 2耐震・制震構造と関連するが、免振工法のみ比較しか示されていない。 3インシャルコストとランニングコストを加えた総コストで比較した資料があるが、合計額の比較となっており、個別の検討比較ができない。 特に、市役所建設費のパターン3(建替え)とパターン4(耐震改修)の費用の差が1.5億円となり、信じがたい。比較できる工事内容ごとの資料を示してほしい。 4小田原市庁舎耐震改修では、地上7階、23463㎡、鉄骨鉄筋コンクリート造の建物を免震改修、総事業費19億9500万円、工期2年で実施している。</p>	<p>シミュレーションについては、建築設計のように各工事を積み上げたものではありませんが設計会社へ委託して算出したものです。</p> <p>パターン3とパターン4の事業費の差が分かりにくいというご指摘を踏まえ、工事内容の詳細を計画書に追記しました。</p>	
5	24	耐震構造・制震構造が採用できない理由	<p>3. 耐震構造・制震構造が採用できない理由についての疑問 13種類の工法(耐震・制震・免振)を検討。耐震・制震では、1階の窓機能に損なわれるため免振構造を想定して検証したとして、耐震プレースの設置箇所の写真・図面が表示されています。 3鉄骨プレースにかかわる他の工法「例：炭素繊維の柱巻き工法」や「鉄骨プレースを他の箇所(例えば外部)に設置」することなど他の工法の検討は行ったのでしょうか。説明がありません。</p>	<p>市庁舎A・B棟の市民ホールにある窓口に鉄骨プレースや耐震壁を設置することについては、シミュレーションを行った建築設計事務所より、水平力に対応するために必要という見解を得ています。一方、柱を補強する工法については、軸力(縦方向の力)については効果が期待できるものの、水平力への対応が不十分であるとの見解を得ています。</p>
28	3 市民アンケート	<p>4. 市民アンケートからの市民の声 市民アンケートでは「耐震化は必要だがあまりお金をかけないで大半」、2つの事業費の約80%(約60億円)が地方債と一般財源、交付金は20%、大金(税)を投入するには市民の重税負担への配慮が必要ではないか。</p>	<p>市役所については、市民意見を踏まえ、短期的(建設費)かつ長期的(建設費および維持管理費)に負担が少ない方法を検討し、その結果、規模を縮減して建替える方法としました。</p>	
36	2 建物や設備の老朽化・機能不足等	<p>5. 劣化度調査の有無について 雨漏りや壁面等のひび割れが生じている。外壁についても落下等の危険が生じており、日常的な施設利用の安全が不安と記してあるが、その根拠とする、建物の劣化度調査の有無、劣化レベルの数値はどのようにしているのか。 庁舎を利用する市民への危険性を回避する周知・掲示が見られないがなぜか。</p>	<p>雨漏りや外壁のひび割れについては、目視および施設管理者の報告によるものです。外壁については、耐震診断の結果を踏まえたものです。</p> <p>外壁の落下等に関する危険性の周知・掲示については、地震時に剥離し落下する可能性があるもので、平常時からの注意喚起を検討いたします。</p>	
6	入間市市民会館の整備に向けた検討方針	<p>6. 市民会館・中央公民館の整備方法について 耐震改修で実施してほしい。</p>	<p>耐震改修を行うことを優先的に考えています。ただし、詳細な調査や基本設計を行った結果、建替えと変わらない事業費が見込まれる場合は、費用対効果を踏まえて整備方法を再検討する必要があると考えます。</p>	
3	入間市役所の整備に向けた基本方針	<p>市役所一耐震性・老朽化の現状から敷地内での建替え、大規模改修をすべきと思う。ただし市民に対しても公共施設の整理・統合で無理を強いている部分もあり極力金をかけない方策を検討願いたい。</p>	<p>市役所整備については、なるべく費用がかからない方法を検討してまいります。</p> <p>市民会館については、耐震改修を優先して検討する考えです。一方、広域連携も候補ありますが、課題を抱える近隣自治体との協議については、可能性を探る努力をいたします。</p>	
6	入間市市民会館の整備に向けた検討方針	<p>市民会館—最小の経費で耐震化する方法を考えるべきと思う(既存施設の維持を前提)。 現在と同規模のホールで十分である。 他市との共同設置等検討すべきと思う。</p>	<p>整備方法を検討する上での課題とさせていただきます。</p>	
7	6	入間市市民会館の整備に向けた検討方針	<p>各内容について検討して頂いている皆様のご尽力、ご苦労に感謝します。左記項目につきまして意見を述べさせていただきます。 市民会館では、芸能関係の講演だけではなく市民団体や学校、民間企業など様々なイベントに使われており、市民の為に大変に役立っていると思います。また、併設の食堂では比較的安価で美味しい料理が提供されており、私も各種イベントや食堂には何度もお世話になっております。各種イベントの誘致や運営に携わっていらっしゃる市職員、ボランティアの方々は深く感謝しております。 従いまして、産業文化会館とのすみわけもありますが、是非とも耐震化工事で存続して頂きたいと思えます。 また、もし、市役所との統合による市民会館閉鎖、完全な解体する場合には、愛宕公園が隣接することから、空き地の駐車場を含め民間に売却・賃借することなく簡易整備程度で残していただきたく思います。</p>	<p>市民会館については、耐震改修を優先して検討する考えです。事業費が建替えと変わらない場合は、既存施設を改修する方法とするのか、充分に検討し結論を出したいと考えます。なお、この土地は、都市公園(愛宕公園)用地となっているため、民間への売却や賃与は考えていません。</p>
8	全体	計画全般	<p>1. 小・中学校の耐震化が平成27年度に完了した事に関しまして、衷心より厚く御礼申し上げます。 2. 市役所A・B棟及び市民会館等の耐震性能不足については、早急に対処の必要があることは論を待ちません。 3. 市議会では公共施設最適化検討特別委員会や本会議で公共施設に関する議論が進んでいることと推察致します。 4. 小・中学校の統廃合計画に関する広報から、市役所および市民会館等の耐震化対策に興味を抱き、説明会にも参加させて頂きました。 5. A・B棟の建替、C棟の大規模改修、市民会館等の耐震補強および大規模改修の方向性で説明がなされており、入間市の財政が潤沢で借入をせずに工事が可能で、小・中学校の統廃合もないのであれば、何ら異議を唱えるものではありません。 6. 建築物等に関する業務を行っている構造技術者、コンクリート技術者として、工事費用に関しては専門外ではありますが、別紙の通り資料をまとめたのでご高覧下さい。</p>	<p>ご意見、資料のご提供ありがとうございました。計画推進の際の参考とさせていただきます。</p> <p>事業費につきましては、既存施設を活用する耐震改修であっても、施設の老朽化により、各棟の設備機器の入れ替えや建物躯体の修繕が必要であり、改修費が大幅に軽減される可能性は低いため、比較のうえ建替えを選択しました。</p> <p>※いただきました資料については、民間企業等のホームページから引用したものが含まれていますので、公開はいたしません。</p>
3-13	計画全般	<p>P-3 「A・B棟に替わる新庁舎の建設を基本方針とする」としながら、各所で次のように P-6 「市民会館耐震改修に要する事業費が更新(新設)する場合の事業費に近い場合は移転新設や広域連携などについても検討する必要があることから、施設整備前に(基本方針について)検討期間を設けたもの」となっている。 P-7 (5)スケジュールの中で見直しの可能な期間は2021年の整備方針の検討から実施設計開始までの約9か月と思われるが、とてもこの期間では不可能である。また全体の中に設計者の選定をどの機に、どのような方法でやるのかが表示されていない。設計者選定は計画の成功にとって決定的要素である。最もオープンな形はコンペティションであるが、国立競技場のように審査員が問題となる事もある。妥当なのは実績が有り、アイデアの豊富な設計事務所数社による指名プロポーザルコンペであろう。こうすれば硬直化した従来の接客方式でなく、訪問者が動かずに、担当者を入れ替わるといった高齢化社会に対応した新方式などを、多様な方法のある耐震補強と組み合わせたいアイデアが可能となるであろう。ただしそれには選定のプロセスを基本設計の前に半年以上時間をとらねばならない。いかに設計や工事者を見える所で公平に行うかが示されていない。 P-20 市民会館耐震改修「想定外の工事が発生し耐震改修に要する事業費が、更新(新設)する場合の事業費に近い場合は移転新設や広域連携などについて検討する必要があることから、施設整備前に検討機関を設けたもの」となるが、一般的に設計が概算工事費を出し、発注側は「割程度の予算予算を取るのが普通であり、これ以上増加となるのは設計ミスとなる。調査した上で設計でありこのようなことはない。 P-4 駐車場規模を「現在166-再整備380台」としているが、この台数は疑問である。最近の都市計画トレンドは中心部に主要施設を置き、なるべく車を入れず周辺部の駐車場からトラムやバスなどの公共交通機関を使う、高速度道路や幅員の大きな道路は通過させないスモールシティの考えである。市内でもイオンやアウトレットなど収容台数の大きな商業施設に起因する安川通りや16号線周囲の交通渋滞を見れば、多ければ良いとは言えない。</p>	<p>「入間市役所等整備計画」を確定した後は、市役所A・B棟は建替えに向けて基本計画を策定し、基本設計、実施設計と進めてまいります。このため、2020年度に策定する基本計画は、建替えに向けて市役所に必要な機能や配置を検討する予定です。その上で、2021年度から建築設計に着手する予定です。</p> <p>業者選定については、ご指摘にあるプロポーザル方式についても検討していきます。業者選定の方法についての記載はありませんが、2019年度にはその方向性を示したいと考えています。</p> <p>駐車場については、現在の駐車台数を基準に記載しました。ご指摘の駐車台数については、現状の利用状況を見ると、大幅に減らすことは困難であると考えます。</p> <p>ユニバーサルデザインの導入については、この計画の上位計画にあたる「公共施設等総合管理計画」で示していますので、基本設計段階から検討いたします。</p>	

No	ページ	箇所	意見	対応方向
	11		<p>P-11 ステップ4施設整備の基本方針 これに下記の6項目とあるが、グローバルな問題としては、ライフサイクルコスト(LCC)の考えに基づいて建築物のトータルコストを下げる、自然採光や中間期の自然換気、室内や屋根・外壁の緑化などを視野に入れた、省エネルギー・省資源という環境に負荷をかけない方針が無い。</p> <p>高齢化社会におけるユニバーサル・デザインについても述べられていない。</p> <p>施設整備の基本方針6は「モデルとなる」ではなく、マネジメントのしやすい、柔軟性のある施設とすべきである。他市の計画では会議の時意外使われぬ議場を、一般に貸し出したり、職員の食事や休憩に使うなどの多様なアイデアが出されている。</p> <p>1市民に親しまれる開かれた施設 2環境に配慮し安全・安心な施設 3市民が使いやすい施設 4オフィス機能が高度時代の変化に対応できる施設 5経済機能に優れた長時間使い続けられる施設 6公共施設マネジメントのモデルとなる施設</p>	<p>「施設整備の基本方針」は、「今後の市役所整備に対する基本的な考え方」について、有識者を交えて検討した結果を記したものです。</p> <p>ご指摘の内容は、今後の市役所整備において大切な視点であると認識しています。</p> <p>施設整備の基本方針については、市有特定建築物耐震化推進計画(平成29年1月策定)の第3章で詳細を示していますが、ご指摘の内容は、基本方針2「環境に配慮し安全・安心な施設」、基本方針3「市民が使いやすい施設」、基本方針5「経済性に優れた長期間使い続けられる施設」で概ね包含しています。</p> <p>今後は、こうした基本方針を踏まえた施設整備ができるよう、市民意見をお聞きしながら進めてまいります。</p> <p>「市有特定建築物耐震化推進計画」は、市公式ホームページに掲載しています。</p>
10	24	3 市民アンケート ○耐震構造・免震構造が採用できない理由	<p>P-30 アンケート結果 いずれも「あまりお金をかけず今の建物を改修したほうが良い」がトップの回答である。一方でこれに対し…</p> <p>P-24 耐震・制震構造が採用できない理由において図入りで、このような補強方法しか無いから「窓口としての利用や事務室内の行き来ができなくなってしまう」とあるが、補強方法は構造設計家の考えで千差万別であり、技術の発達で工法も多様になった。高層マンションで入居したまま地下を切断し免震装置を取り付けるなど普通にやっている。単純に補強プレースのかけ方を変えても良い。窓口業務も小金井、朝霞市など複数の庁舎建替計画において来訪者席を固定し、ITの活用と、係員が専属のデスクや端末を持たないオフィスの流動化で、近い将来切り札となると思われるワンストップ方式が視野に入れられており、必ずしも今の位置が良いとはいえない。ここだけわざわざ図を入れて詳しく述べるのは、建築が不明な市民をこの方針に誘導しようという意図が見える。基本計画全体として元の形に固執する保守性が強く、将来を見据えてそれを楽しい形の中に実現しようという夢やアイデアが見られないのは残念である。</p> <p>筆者の考える、楽しいアイデアとは、例えば市役所と公会堂の駐車場を地下化し地上を公園や茶畑、屋外ステージなどに使用する。殺風景な外壁、特に公会堂の道路側、裏側のコンクリート面を緑化し、愛宕公園との景観連続性を計る。市役所体育館、公会堂を2階レベルの屋根付き回廊(または無人簡易モノレールでも良い)でつなげて運用する。市役所建物は現在そのまま耐震化し、会議室を撤去して会議は公会堂で行い、B～C棟間の中庭と共に、補強部材を利用して開閉式ガラス屋根を造り、緑化ロビーとするなどである。なお筆者は直接かかわっていないが、横浜・尼ヶ崎・宝塚市役所を設計した事務所に長年勤め、都市計画に関心を持ち11ヶ国、20数都市を歩き、下記のホームページに纏めてある。 <a href="http://www007.upp.so-nEt.nEjp/s-suzuki/">http://www007.upp.so-nEt.nEjp/s-suzuki/</a> 参考写真添付2枚(著作権筆者)</p>	<p>図や写真については、これまでいただいた市民からの指摘を受けて配したものです。この部分の説明では、既存施設を活用する場合、「耐震構造」や「制震構造」ではなく、「免震構造」にして、耐震壁やプレースを設置しない方法を提案しています。また、市役所は、災害復興拠点としての機能が期待されていますが、建物を免震構造とすることで、被災後も使い続けられるメリットがあります。</p> <p>この説明は、既存施設を活用することを否定するものではなく、既存施設を活用する場合は、「免震構造」としたいということを記したものです。</p> <p>ご指摘の「夢やアイデア」については、この計画で耐震化に向けた整備方法を決定した上で、市民意見を反映した基本計画、基本設計を策定したいと考えており、最小限の表記に留めさせていただきました。</p>
11	3 6	入間市役所の整備に向けた基本方針(市役所) 入間市市民会館の整備に向けた検討方針(市民会館)	<p>■市役所の整備計画について ■市民会館・中央公民館の整備計画について ●再考:整備の手法について再考すべき 現在、市役所も市民会館も、現在地で再整備するとすると、都市計画の問題、アクセス面での問題、地盤に高低差があるという問題があり、結局のところ、市民会館の延命措置を図る形である。このことから、次の代替案を検討してほしい。</p> <p>①案:市役所の近くにある体育館の場所で、体育館と市民会館の複合化を行う。 →入間市については、各地区に地区体育館が設置されており、少子化及び生産年齢人口の減少を考えれば、中央に大きな体育館は、利用頻度及びメンテナンスを考えれば、施設の統廃合、縮小化を図るべき。</p> <p>②案:産業文化センターとの複合化 ミクロ的な視点でいえば、産業文化センターと市民会館は目的や規模などが違うものであるが、マクロ的に見れば、同じエリアに同じ文化施設が2つあるのは、ランニングコスト的に不効率である。産業文化センターの室内レイアウトを変更し、市民会館化すべき。</p> <p>③案:中学校跡地の利用 そもそも今の場所で再整備を考えると無理がある。このことから、統廃合で役目を終えた中学校を取り壊し、新たに市役所と市民会館を建設する。新たな場所に建設することで、1市役所建て替える時に職務スペースが手ざまになる。2開庁時にもかかわらず、トラックや重機が入ることでのアクセス時の危険や騒音、振動が発生する。3来庁者がどこに行けば用が足りるのか分かりづらい、といった課題がなくなる。</p> <p>新庁舎を新たな場所に建てるケースは、東京都昭島市や立川市などいくつも例がある。 また、このことで庁舎、市民会館、駐車場が一体的な整備が可能となる。 現在の市役所と市民会館については、取り壊し後、売却し、売却益を庁舎建て替えるの借入に充てる。市役所は、市街地なのでそれ相当の売却益が見込める。 以上3案について、再検討してほしい。</p> <p>■新庁舎建設にあたって 新庁舎は民間企業との複合化が望ましい。これは建設コストやランニングコストの削減にもある。現在、三鷹市役所が郵便局との複合化庁舎の計画について、プレス発表されている。 入間市に言えばJAなどの複合化がはかれるとよいのではないだろうか。</p>	<p>①案については、市民会館(劇場)が都市計画に適合しないため、法令上困難と判断しました。</p> <p>②案については、産業文化センターを劇場の用途としてしまうと、都市計画に適合しないため、法令上困難と判断しました。</p> <p>③案については、今後、公共施設マネジメントによる統廃合が進んだ際は、可能性があります。ただし、今後統廃合を予定している学校跡地の多くは市街化調整区域に存在しているため、市庁舎は法令上建設できません。一方、市民会館については、可能性があるため、将来、移転先として検討しています。</p>
	8～13	1 計画策定までの経過	1 5年前の耐震診断に基づく、経年での取り組み経過が解り易い。(概要だが、要点が絞られ理解できた)	ご意見ありがとうございます。
	14～20	2 整備方法の検証	2 「パターン3」方針に至る、諸検討。特に、市役所機能(市民サービス)の維持へ向けた報告には大きな配慮を感じます。17ページの「総コストの算出」の記述は、国土交通省の『試算指標?』程度の理解です。(直接、説明会に出席していないので)中長期のコストのローリングプランか	ご意見ありがとうございます。
	21～26	3 市民意見	3 「パターン1」「パターン2」どちらでも良いと思われる。事業費は増えても、将来に備えより良い新庁舎建設を前倒して着手することが肝要と思います。	ご意見ありがとうございます。
	全体	計画全般	◎「市役所整備計画」「マネジメント事業計画」共、Dサークルなど『PDCA』の活用が感じられる。実行の時、市民の為断行を。	決定した整備計画に基づいて進めてまいります。
	全体	計画全般	◎中長期での事業計画、経年での経済情勢により「事業資金等の不足等については」補正・特別予算等で適宜対処を。(蛇足でした)	決定した整備計画に基づいて進めてまいります。
13	全体	計画全般	<p>原案として市民会館と市役所が複合化案にならなかったことは大変良かったと思っています。しかし、市民会館の耐震補強費と大規模改修費の正確な見積を出せば現在の試算(11.42～19.79億円)より大きく増え建替案にある40.50億円に近づく可能性は高いと思います。当然ながら建替案が再燃すると思うのですが、建替案には賛成しますが、複合化案には反対ですので、反対理由をもう一度説明します。</p> <p>一番の問題は座席数の件です。現在の市民会館の大ホールは1086人収容で、産業文化センターのホールは442人収容です。入間市白書によりますと、それぞれ40%と35%と低い稼働率になっています。これは商業ベースの利用が少ないからであって、理由はコンサート等の集客数が母も分子も低いからでしょう。それを700人と中途半端な収容ではおさらです。最低でも1500人収容は必要だと思います。複合化案だと敷地が狭いので、700人規模しか建設できないので反対です。</p> <p>もう一つの反対理由は、駐車場です。市役所の駐車場における機能的な問題もありますが、所沢のミュージズは収容2002人に対して駐車場が1100台あります。川越のウェスタも1700人収容で駐車場が773台あります。それぞれ収容人数の半数を確保しています。ちなみに入間市市民会館は、1086人で188台です。17%しかありません。</p> <p>そもそも入間市駅や豊岡っを中心にまちづくりを考えるとナンセンスです。丸広、サイオス、映画館のあるアイ・ポット、その全て運営が上手くいっていないのは入間市の端の入間市駅という場所が交通動線からも商業施設に向いていない証拠です。安川電機のイオン、コストコ、三井アウトレットパークが入間市の中心商業地なのは明らかです。運用的・商業的に採算が取れる施設を造らなければ、稼働率が上がらず、市税の負担が増えて、未来に負債を残します。</p> <p>以上の理由から、建替案するならそこを核にしたいと思っています。</p>	<p>市民会館の建替え(移転新設)の場合、多くの方が集まる施設であることから、利便性などにも配慮したいと考えます。ただし、「劇場」という特殊な建築用途に該当することから、建設可能な土地に限られるため、その中で最適な土地を検討いたします。</p> <p>市民会館の施設規模(収容人数)については、今回、既存施設を耐震改修する方向であることから、将来の建替え(移転新設)の際には、需要を考慮して規模を決定したいと考えます。</p>
14	全体	計画全般	公共施設が統廃合されようとしている時、予算減という時に市役所建替えには反対です。最小限耐震対策のみにとどめるべきです。	市役所A・B棟については、耐震化の問題に加えて老朽化の問題も抱えているため、耐震化に合わせて、設備機器の更新や建物躯体の改修も実施する必要があります。これらの費用を試算すると、建替えの事業費と差が少なく、長期的な維持管理費を含めると建て替えた方がコストが抑えられるため、建替えを選択しました。
15	—	計画対象外	<p>統廃合は将来的にも財政的にも致し方無しと思えます。</p> <p>ただ、用地買収にかかる時間が少なすぎると思えます。地域住民にとって、学校は非常に重要な問題なので、もう少し時間の猶予が欲しいです。もう一点は市として宮寺二本木地区の将来をどう考えているか知りたいたいです。道路の計画は聞いた事がありますが、それに伴い、調整区域から市街化にし、人口を増やす事も宮寺に住む者の夢や希望になると思えます。以上よろしくお願致します。</p>	入間市公共施設マネジメント事業計画(原案)に対する意見として、同計画の意見一覧に移行して対応方向をお示します。
	6	入間市市民会館の整備に向けた検討方針	市民会館は、耐震改修、移転新設、広域連携のいずれでもなく、廃止の可能性も残すべき。あったほうがもちろん良いが、なくてはならない施設ではない。	市民会館については、耐震改修を優先して検討することとしました。ただし、事業費が建替えと変わらない場合は、既存施設を改修する方法とするのか、移転新設、広域化とするのかを十分に検討し結論を出したいと考えています。
	6	入間市市民会館の整備に向けた検討方針	「広域連携」が2019年度からの3年間で話がまとまるとは考えられない。既に他の自治体と交渉している等の状況でないのであれば、本計画に「広域連携を検討する」旨記載しないこと。広域連携を検討したものの時間切れで移転新設に決まりました、とならないようにしてください。	計画に示した3案を再検討し、速やかに判断するためには、3年間の中で調整する必要があると考えています。
	7	スケジュール		
	20	7 検証を踏まえた整備方法の選定	「市民ニーズとしては、次世代への財政負担を軽減することよりも、指摘のあった事項の改善が優先されることが確認できた」の根拠となるデータが示されている箇所を示してください。	市では、これまで市役所の敷地内でA・B棟は建替え、市民会館は、市役所敷地内へ移転新設し複合化する案が次世代への財政負担を軽減させることを含め、最適な方法であると提案しました(市有特定建築物耐震化推進計画参照)。しかし、この案に対し市民意見を聞いたところ、多くの方から、「複合化した場合、駐車場や交通動線等に課題がある」との指摘があり、課題について再検証しました。その結果、複合化では、課題解決が難しいことから、それぞれの施設を単独で整備することとしました。 なお、ご指摘のあった文章については、一部不適切な表現を削除しました。
16	28-31	3 市民アンケート	意見交換会会場でのアンケートと、若年層向け及び小中学生向けアンケートの設問が異なるため、結果を等しく扱うことは不適切ではないか。若年層向け及び小中学生向けアンケートをやり直した上で計画を作り直すべき。	アンケートについては、市民の考え方の傾向を把握するために実施したもので、それぞれの対象者にわかりやすく設問を考えました。このアンケートにより、市民の考え方が把握できたものと考えており、やり直す考えはありません。
	30-31	3 市民アンケート	<p>若年層向け及び小中学生向けアンケートの「安全を確保するために」と「あまりお金をかけず」を回答項目に入れたことは不適切であるため、回答項目を変えて再度アンケートを実施すべき。</p> <p>改修よりも建替えのほうが安全だと言い切れるのか。用意された回答項目が「あまりお金をかけず建替えたほうが良い」「安全を確保するために今の建物を改修したほうが良い」だったならば、若年層や中学3年生の結果が「建替え&gt;改修」だったかもしれないし、小学6年生の結果が「改修&gt;建替え」だったかもしれない。</p> <p>また、7ページで「耐震改修に要する事業費が、更新(新設)する場合の事業費に近い場合は移転新設や広域連携などについても検討する必要がある」と記載している通り、改修でも新設と同等の費用がかかる可能性があるため、改修のほうが安上がりだという印象を与える表現は適切ではない。</p> <p>これらが妥当な回答項目であるならば、3つ目の回答項目はなぜ「他の場所に建物を移転したほうが良い」だけなのか。例えば、「より多くの駐車台数を確保するために他の場所に建物を移転したほうが良い」としていたら結果は異なったかもしれない。</p>	アンケートについては、市民の考え方の傾向を把握するために実施したもので、それぞれの対象者にわかりやすく設問を考えました。このアンケートにより、市民の考え方が把握できたものと考えており、やり直す考えはありません。

No	ページ	箇所	意見	対応方向		
6	8	21	入間市市民会館の整備に向けた検討方針 計画策定までの経過 市民意見	多くの時間と労力を費やし、ここまでまとめられたことについて、市担当及び関係部署の方々に感謝いたします。 基本的にこの内容を進めてよいと思いますが、検討の経緯等を踏まえいくつかの点で意見を述べさせていただきます。 市民会館は耐震改修で「検討」していくとのことですので、まだまだ紆余曲折が予想されます。耐震化が最重要課題なのでやむを得ないとは思いますが、当該施設(文化施設、集会施設)の機能、役割などについては、どのような議論があったのでしょうか。 実際の整備にあたっては、耐震化には財政的な裏付けが重要ではありますが、そもそも当該施設の機能、役割も含めて、必要性、有用性等があまり示されていないように思います。平成29年度に実施したワークショップではそういったところを共有する目的もあったと思いますが、触れられていません。 特に、市民会館の文化施設としてのあり方については、これまでの入間市の文化振興にどれだけ寄与し、今後もそれらの拠点となるべき施設としてどうしても必要だ、といった部分が見えていません。総合計画で予定されている「文化振興指針」の策定とあわせて、これまでの総括、現状認識、他の施設や市全体の目指す方向性と関連させた内容として示すべきだと思います。	市民会館については、市民意見を踏まえ、今後も必要な施設であるという認識のもと計画を策定しました。ご指摘の統括等の課題については、関係部署と協議し、対応してまいります。	
			21	(1)市役所整備に関する意見	2. 公共設備マネジメントと関連しますが、今後の市民活動の高まり、広がり、活動の場の確保を考えると、現在の市民活動センターでは場所も含めた利便性という点から不十分と考えます。 このため、今後の市役所整備の際に、その機能だけは付け加えるべきと考えます。	市役所については、単独で整備する方法になったことから、活動場所としての市民活動センターを整備することはありませんが、機能の一部を市役所内に配置することについては、市役所整備の基本計画を策定する際に検討したいと考えます。
全体		市民説明会時の資料	当該事業計画の「計画確定」について伺います。 このパブリックコメントを経たうえで「計画確定」し、4月からは事業の実施を目指すとしています。 説明会では、公共施設マネジメント事業計画ほどではないにしても、原案に対する異論、反論を唱える方も多くあったと聞きます。そのような中で、「計画確定」という行為の正当性の要件である「合理性」をどのように理解、判断すればよいのでしょうか。 3月議会で提案されている施政方針、平成31年度予算(案)では、平成30年度で確定した「公共施設マネジメント事業計画」という表現を明確に示しています。これ(計画確定したことを前提に)を受け、新年度予算案では、市役所はPFI導入可能性調査業務、市民会館には基本設計業務の事業が予算化されています。 今後の事業推進のための当該事業計画「計画確定」の正当性を裏付ける「合理性」について、どう理解すればよいのか伺います。	本計画は、着手から決定まで3年をかけて積み上げてまいりました。広報紙にも平成26年12月号から、公共施設マネジメント関連の記事と併せて16回掲載し、情報提供を行ってまいりました。その上で市民説明会、意見交換会、市民アンケート等を実施し、市議会での審議も得ながら進めてまいりました。そうしたことから、計画確定の正当性を裏付ける合理性についても確認できているものと考えています。		
18	3	6	入間市役所の整備に向けた基本方針 入間市市民会館の整備に向けた検討方針	市役所・市民会館の耐震化は急いでやる必要があると思うので、建替えではなく耐震補強できるだけ早くやるべきだと思います。 市民会館・中央公民館の整備方法について、耐震改修でやって欲しい。	市役所の耐震化を早期に完了させることについては同じ考えですので、市としても可能な限り早期に実現できるよう努めます。 なお、市役所については、建替えを選択しましたが、耐震改修の場合と完成時期の差は1年であるため、工期が長く不利であるとは考えていません。 市民会館については、耐震改修を優先して検証してまいります。	
			3	入間市役所の整備に向けた基本方針	市役所の耐震化は建て替えではなく耐震補強で実施すべきと考えます。 建て替えによる耐震事業を完了するには、スケジュールで2019年から9年となっており、緊急対応とは言えません。耐震補強なら4年程度で、できるのではと考えます。	建替えを選択した場合、新庁舎の供用開始時期は2025年を想定しています。 建替えの場合、全体の工程では9年要しますが、新庁舎建設後約3年間はA・B棟の解体工事ですので、耐震化は2025年となっています。 耐震改修の場合は、2024年にA・B棟の工事が完了する予定です。 従いまして、耐震化が完了する時期の差は1年となります。
—		—	計画対象外	為念～イデオロギー・宗教、特別なものなくきわめて一般の市民 2 学童は家程に居ない。但し子供は日本の宝。経験中の少子化がどんなに大変か積極的政策を願いたい。 整備計画～署名運動には反対の署名をしたが、計画・政策自体は賛成でむしろもっと早くても良かったと感じていた。 2 但し、高倉地区での学校・公民館・保育所の3つのコミュニティがなくなり別件だが南沢広場を称する広場が追い打ちをかけてなくなる。驚いて当然、統合は廃止区域の中間点に設置、建設するのは当然と思う。 3 計画結論を急ぎすぎるのではウィークデーの19時の打合せは若者世帯は出席できないのでは。「夜打ち」は朝駆けの勤労者は今でもいるのでは。	入間市公共施設マネジメント事業計画(原案)に対する意見として、同計画の意見一覧に移行して対応方向をお示しします。	
			20	計画対象外	1からのつづき、整備計画のシンクタンクは、説明会～各地区何回もご苦勞様ですが、くれぐれも市民に納得させる説明会として充分やったので計画路線のままでは困る。意見をとり入れた改善策をの施設はくずして欲しい。 計画実施後の事、 1不動産鑑定すれば高倉地区の地下は低下する。行政施策もおそらく手遅れが多くなる。過疎化する。固定資産税は減少する。(近くにきている野生動物の出没も多くなるだろう) 2労働力が減少、今でもその傾向にある茶畑が減反となる。経済発展の産業が来れば良いが招かざる団体など来て困るのでは。 3入間市は環境が良いと転住した人達も住民の耐用年数が到来した時建て替えでなら他地域への転出を考えるのでは入間発の積極的な施策を願いたい。 4現状のお金の使い方見直し、無駄をなくし将来への良きビジョンを期待します。(積極的な)	入間市公共施設マネジメント事業計画(原案)に対する意見として、同計画の意見一覧に移行して対応方向をお示しします。
21	全体	計画全般	諸搬の状況から考えて、耐震化こそ実行すべき取組むべき事と思います。 市の財政、市民の税負担等から考えこれらの軽減からも市民の生活環境改善につながると思います。建て替へ急ぐよりも、安全、安心を満足する耐震の策を選択する事こそ、市民生活の向上になると思うので、建替えには反対致します。	総合的に検討した結果、計画書の通りとさせていただきます。		
22	全体	計画全般	結論から申し上げます。 全ての市庁舎と市民会館は耐震化すること。理由、今建替える必要がない。何故、今なのか。よりリサーチしてない。世間一般は耐震化で無駄なことはしてない。 新しい箱物作りは、古い考え方です。 生あるものは全て劣化するし、突然の災害がおしよせてくることもあるが、それを想定して今、何をすべきか、何に力をそそぎ、お金を使うか、想像し、シミュレーションして、来るべき未来に深く考察する。思いつきや、風潮でやらない。 この地を後の後継者かと考えている者にとって責任を感じている。 外装も内装も地盤も環境も含めて、今あるものを真に大切に、市民に希望と驚きを与える優秀な建築デザイナーをさがして下さい。それからでも遅くないです。	既存施設を大切に使うということは市も同じ考えです。そこで、市役所C棟および市民会館は、既存施設を使い続けることとしました。ただし、市役所A・B棟については、耐震化の問題に加えて老朽化の問題も抱えているため、費用対効果を確認した上で建替えを選択することとしました。		
23	全体	計画全般	耐震補強を含む新庁舎建て替えに賛成します。 先程、市役所に確定申告に久しぶりに行きましたが、壁、トイレなど、あまりの老朽におどろきました。 一市民として「入間市」はピンボケなのだろうかともモチベーションも下がります。3. 11級の災害に市役所として対応できるのか、不安になりました。 安かろう、悪かろうでは困ります。 厳格、公正な入札のもと、計画を進めてください。 既得権益者を排除してください。 乱筆乱文にてすみません。	市役所整備に向けては適正な方法で業者選定を行ってまいります。		
24	22	市民意見	表6の対応方向に記述のある「22ページ」は「24ページ」の間違いですか？ 開口部の耐震について写真のようにしなければならぬ事について他に工夫はできないのですか？ 他市で耐震化されている所で窓口にこんな耐震ブレースあるのは見たことない。他市でどうしているのかなど本当に研究されているのか疑問です。素人ですが、窓枠を補強、そこに柱をたてるなんてこともできるのでは？ 建築家(専門家)の意見知りたいです。	22ページの(2)市役所整備に関する意見の6番目「対応方向」のうち「22ページの」については、「24ページ」の誤りです。計画書を訂正します。 業務委託先の設計事務所は確認した結果、市役所A・B棟は、他の市役所等と比較しても特殊な構造の建物です。特に、B棟1階(市民課・国保医療課)部分には壁がなく、5階までの荷重を柱で支える構造となっており、耐震診断の結果、構造耐震指標の数値が建物全体で最も低くなっています。このことから、耐震改修案では、地震の水平力(横方向の力)に対応する壁やブレースの設置が必要との見解を得ています。		
—		—	計画対象外	閲覧用として、各所に設置していたものを2/16(土)の西武公民館の説明会で市民に配っていた。これだけの内容のものを閲覧くらい短時間で把握できない。また、そのように一部の市民に広報もせず配布するのは不公平である。希望者全てに配るべきである。	今後の配布方法の参考にさせていただきます。	
			3	(2)新庁舎建設の手順	民間の建物を市の土地に建てた時の有利性を想定するのより、万一倒産した時その建物をどうするのか説明すべき。	PFI方式は、全国の自治体に多くの導入事例があり、当市においても、リスクをまねかない導入を検討する計画です。
			6	入間市市民会館の整備に向けた検討方針	耐震改修の方向で進め、不可能な場合は産業文化センターの活用と公民館については、統合により空校舎を代用すればよい。そもそもホールの可動率は市民会館、産業文化センターとも100%ではないから。	耐震改修を優先として、基本設計等により再検討いたします。なお、それぞれの団体の使用希望時間が重なるため、全ての時間帯を活用し、稼働率100%とすることは難しい状況です。
25	19	7	検証を踏まえた整備方法の選定	A・B棟を今建て替える必要がない。これからの人口減少を市は見込んでいっているので使える時まで使い、その後人口を見て、建て替えか空校舎の活用でもよい。学校用地の転用は出さないとおきながら、大妻大跡地の一部は中村屋と中村屋の中華まんミュージアムになった。なら、そこに用地転用で、市役所を移してもよいのでは。入間市の端の方が本庁でもよい。栄える可能性もある。広いので防災・災害復興拠点としても活用できる。	市役所の本庁舎につきましては、法令(地方自治法・都市計画法)により建設できる場所が限られますので、それを考慮すると現在の場所での建替えが現実的です。 市役所A・B棟は、使えるだけ使うという考え方もありますが、耐震改修に要する費用を試算したところ、建て替えた方が効率的かつ効果的であるということから、建替えを選択しました。なお、30年後には、C棟が建設から60年となることから、C棟の建替え規模により、建物全体の規模(面積)を調節することを見込んでいます。	
			32	今後の進め方	これが、2月の市民説明会だったのでしょうか。説明会に合わせて積算を出したのでしょうか。そして3月に答えを出すのはおかしい。 建て替えありきの説明で、全く、28ページから記載のある市民アンケートは反映されていない。	市民アンケートの結果については、回答が多かった「最小の経費で耐震化する方法を考えるべきである」や「あまりお金をかけず今の建物を改修したほうが良い」という結果を踏まえ、建設費および長期的な維持管理費の面でコストが低い方法を選択することとし、その結果「建替え」を選択することとしました。
26	3	入間市役所の整備に向けた基本方針	「緑」の機能が、個人のリラックス効果から、良好な生態系による人間の原風景の形成、地域温暖化による経済的損失の軽減まで、様々な恩恵を市民にもたらすことは「入間市緑の基本計画」に詳しく載っています。先日、改定版策定のための住民会議を終え、現在4月の公表に向けた作業が行われていると思います。この計画は「第6次入間市総合計画」から発展させた計画ですので、「入間市役所等整備計画」と目指すものは似ていると考えて良いと思っています。ところが、「当整備計画」の中に「緑化」やそれを連想させる文章が見当たりません。 地球温暖化対策や生態系保全対策は世界的な流れであり、今や待たない状況です。 第1章の「入間市役所整備に向けた基本方針」の中では「新庁舎の機能等」や「来庁者用駐車場など」とゆるやかな表現が用いられ、「緑化などの環境を考慮した計画は後付けも可能だとも考えますが、そこは明確な表現での記載をお願いしたのです。市役所は「都市緑地法」に基づき、重点的に緑化に配慮すべきと「入間市緑の基本計画」で定める地域にあり、建て替え時などが、緑地推進の良い機会とも記載されています。そこで新庁舎の屋上に太陽光発電パネルの設置、又は壁面と共に緑化するのに加え、地中に人間の自然の特徴を盛り込んだ「茶畑と雑木林のひな形庭園」を造成して、地球温暖化や生態系劣化の問題に対応した整備を進めて欲しいと思います。 そして上記の市役所緑化計画を進めやすい様に、又、市民がイメージしやすい様に下の文章のアンダーライン部分を加えて頂きたいです。 6. 新庁舎の……意見交換会等における市民意見に加え「緑化」など環境を考慮したものとし、基本計画の策定 ※埼玉県では、建物の屋上・壁面、駐車場の緑化を推進しています。駐車場の場合、アスファルトと草地の表面の温度差は平均14℃とのデータが生かされています。 ※以前、市役所駐車場のケヤキでツミ(小形のタカ・在来種)の営巣が確認されたことがあり話題になりました。又、営巣して欲しいものです。	ご指摘の事項は、「入間市役所等整備計画」の上位計画に当たる「入間市公共施設等総合管理計画」で示しています。市役所および市民会館も原則として、この方針に沿って整備してまいります。 ご提案いただいた具体的な内容については、あらためて基本計画で検討いたします。		

No	ページ	箇所	意見	対応方向
27	全体	計画全般	<p>施設の建て替え、統廃合の内容や時期は、地域の特性や市民の意向、施設の耐用年数に基づき設定したと言いますが、3月で決定するのは不十分です。延期して下さい。 (以下別紙に記入しました) 入間市職員のみならず、日頃の市政へのご尽力に感謝申し上げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市役所は小さな建物に 人口が減少するというのですから、大きな建物は必要ありません。小さな建物で十分だと思います。</li> <li>計画を先延ばしに 最小限の経費で、急ぎ耐震化をおこない、大規模改修は後に回した方が賢明です。</li> <li>駐車場の問題 現在の駐車場の広さを確保できないのではないのでしょうか。</li> <li>コストの問題 予算も当初と大きく変わっています。本当にこの予算でできるのでしょうか。細かい資料を市民に提供すべきです。 後になって市民へのしわ寄せは困ります。</li> <li>現在の市役所が地震で倒壊するのか 耐震診断の結果が見えない 今後30年の間に大地震が来るだろうと予測されています。市役所が、地震で倒れるかもしれない、持ちこたえるかもしれません。建て替えた方が良いのか、耐震化すれば良いのか、それは誰も分かりません。市民には説明不足だからです。もっと分かりやすく説明をお願いします。そのためには期間が必要です。 確かに市役所が痛んでいることも分かります。市役所の1階でエレベータを乗り間違え、上の階で降りると迷路に入ったようになります。機能もよくありません。近隣の市役所から比べると使い勝手も悪いです。市民と市の職員にとっても新しい方が良いに決まっています。が、耐震の問題は、説明会で聞いても良く分かっていません。多くの市民が分かっていないと思います。そのような状況で初めて良いのでしょうか。 計画は延期すべきだと思います。</li> </ol>	<p>市としては、長期的な費用負担も考慮して「建て替え」を選択しました。 計画に示した新庁舎につきましては、現在の規模よりも縮小する計画です。 駐車場については、耐震改修の場合、仮設庁舎用地が必要になります。一方、建て替えの場合も、工事期間中は、駐車場が減りご不便をおかけすることになります。ただし、建て替え後は、現在よりも多くの駐車台数を確保できる見込みです。 財政計画については、全ての公共施設を対象にした「公共施設マネジメント事業計画」で示しています。 市役所の耐震化の必要性については、平成30年6月～7月にかけて、市内各地区で「意見交換会」を開催しご説明してまいりました。現在でも動画(市公式ホームページに掲載)を活用して周知を図っています。</p>
28	3	計画全般	<p>市役所の耐震化は建て替えでなく、耐震補強で実施すべきと考える。 市役所はもちろん安全・安心の施設でなくてはなりません。財政状況も考慮した場合、最小限の費用で、なおかつ最大の効果を発揮する方法を選ぶべきです。市役所及び市民会館の耐震化については、早急に対応しなければならない課題、安全性の確保が喫緊の課題であるとしていますが、耐震化は急ぎ行う必要があると考えます。原案では、建て替えによる耐震化事業を完了するには、スケジュールで2019年から27年(9年)を擁しており、それは時間がかかりすぎて緊急対応といえません。</p>	<p>建設費および長期的な維持管理費の面でコストが低い方法を選択することとし、その結果「建て替え」を選択することとしました。 建て替えを選択した場合、新庁舎の供用開始時期は2025年を想定しています。 建て替えの場合、全体の工程では9年要しますが、新庁舎建設後約3年間はA・B棟の解体工事ですので、耐震化は2025年となります。 耐震改修の場合は、2024年にA・B棟の工事が完了する予定です。従いまして、耐震化が完了する時期の差は1年となります。</p>
	15	3 シミュレーション結果	<p>2. 事業費の比較について 素人ながら、建設費のパターンは、原案通りに導くような数字の羅列であり、積算根拠があまりにもおざっぱであると感じます。建て替えの項目別事業費は4ページに示されていますが、耐震改修の項目別事業費がなく、比較できる工事内容ごとの資料を示すべきです。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、工事内容の詳細を計画書に記載しました。</p>
	28-31	3 市民アンケート	<p>市民アンケートからの市民の声 市民アンケートでは「耐震化は必要だがあまりお金をかけないで大半」です。いま、まっさきにやるべきことは市民への重税をやめ、いのち、暮らしに直結する分野での施策です。学校の体育館や特別教室のクーラー設置、子ども医療費無料化の年齢引き上げ(18歳まで)、高すぎる国保税の引き下げ、そして高齢化に向けての福祉の充実等々。市の予算の使い道について、十分な吟味、そして見通しのうえで施策を決めてほしい。</p>	<p>これまでいただいた市民意見を踏まえ、建設費および長期的な維持管理費の面でコストが低い方法を選択することとし、その結果「建て替え」を選択することとしました。</p>
29	全体	計画全般	<p>5. 劣化調査の有無について 雨漏りや壁面等のひび割れが生じている。外壁についても落下等の危険性が生じており、日常的な施設利用の安全が不安と記述しておりますが、それこそ真先にやるべきことです。建物の劣化度調査の有無、劣化レベルの数値はどのようになっているのでしょうか？また庁舎を利用する市民への危険性を回避する周知・掲示が見られませんが。</p>	<p>雨漏りや外壁のひび割れについては、目視および施設管理者の報告によるものです。外壁については、耐震診断の結果を踏まえたものです。 外壁の落下等に関する危険性の周知・掲示については、地震時に剥離し落下する可能性があるもので、平常時からの注意喚起を検討してまいります。</p>
			<p>(1)整備方法と事業費の圧縮 入間市役所の整備に向けた基本方針については、計画策定までの経過、整備方法の検証等について、丁寧な市民説明会を通じて概ね理解ができ、耐震化を第一義的に優先する必要からととしております。 しかし前述のように入間市の財政状況は民生費(社会保障費)も今後の更なる高齢化を見据えると厳しさを増しています。入間市の予算規模、税収等から見て膨大な設備投資となっており、状況の推移によっては結果として市民生活に大きな影響を及ぼすリスクもないとは言いきれません。 いくら立派な庁舎が完成しても、それ自体は市民生活に直接プラスをもたらすものではありません。 まちづくりの視点を大切に、少しでも新庁舎が市民生活にプラスをもたらすように機能面から更なる工夫をお願いいたします。 整備方法の検証については、シミュレーションを実施し、事業費の比較検討を行い「パターン3」を選択しております。 しかし事業費については民間活力の活用等により更なる圧縮ができないか、衆知を集めて継続検討を進めていただきたいと思います。</p> <p>(2)今後の進め方 今後2020年度に向けた基本計画、2021年度の基本設計、2022年度実施設計と進みますが、従来通り各段階で市民への丁寧な説明を行い、市民参加による計画実現に向けて更なる努力をお願いいたします。 また市民を代表する市議会との連携調整も継続的に進めていただきたいと思います。</p>	<p>施設整備に向けて、事業費の圧縮は今後の課題であり、様々な可能性を検討していきたいと考えています。 今後の進め方につきましても、市民および市議会に対し、各段階での説明等に留意してまいります。</p>
30	全体	計画全般	<p>市役所等整備計画は、耐震化を理由に建て替えを提案していますが、当初は複合化による建て替えであったが、複合化は無くなったものの建て替えという案となりました。 市は良く施策にあたっては「お金がない」を理由にしている。それならばまず耐震化をすることを一義的に考えるべきであろう。その後については、十分に市民からの要望を聞きながら時間をかけ検討してすすめるべきだろうと考えます。 さらに建て替えよりは緊急に対応すべきものがあるのではないかと。聞くところによると公共施設の中に男女が一緒のトイレがあるという。またトイレが和式のままだというのがある。家に帰れば洋式のトイレしか経験がない子供たちにとっては急いで改善してほしいはずである。また高齢化が急速に進む中でバリアフリー、高齢者の安心・安全など優先する課題があるはずだと考えます。 建て替えではなく耐震化で対応し市民が望む緊急課題こそ優先されるべきと考えます。</p>	<p>これまでいただいた市民意見を踏まえ、建設費および長期的な維持管理費の面でコストが低い方法を選択することとし、その結果「建て替え」を選択することとしました。 市役所および市民会館の耐震化については、市として最優先課題であり、できるだけ早く実施しなければならないと考えています。一方、市民から充分意見をお聞きすることも必要であることから、平成30年度は、各地区で説明会を開催するとともに、アンケートを実施しました。</p>
31	全体	計画全般	<p>市役所等耐震化にしてなるべくお金がかからない計画にして下さい。 市長のレガシー建築物にならない様をお願いします。</p>	<p>市役所A・B棟については、耐震化の問題に加えて老朽化の問題も抱えているため、耐震化に合わせて、設備機器の更新や建物躯体の改修も実施する必要があります。これらの費用を試算すると、建て替えの事業費と差が少なく、長期的な維持管理費を含めると建て替えの方がコストが抑えられるため、建て替えを選択しました。</p>
32	6 7	入間市市民会館の整備に向けた検討方針	<p>市民会館に代わる700席位のホールの複合化案はとりにあらずなくなったのは良かったと思いますが、市庁舎の最上階に小ホール(産業文化センターの半分くらいの規模)をもってきて、ガラス張りのホワイエにすれば、市内には公民館内のホールやアミーゴの100席のホールしか小ホールがないので、皆さん喜ぶと思います。 3年間で積算した金額次第では移転新設を視野に入れてあるとあるが、新設時の規模をどう考えているのか。 不安になる意見である。現在の建物整備にかかわる費用が12億円から15億円程度と思われるので、とりにあらず早く取りかかり、30年後を見据えて今後の計画に本腰を入れる。 せつかくの建物ですから直し直しつないでほしいのですが、専門家の意見を聞きたいです。 他市が良いホールを建設しているの、名称を含めた規模の勉強をして欲しい。子ども達の未来のため、文化のシンボルとなるホール。入間市のために研究チームを作ろう!!</p>	<p>市役所については、市民会館との複合化をせず単独整備することとなったため、現時点で、市役所にホールを設置する計画はありません。 市民会館については、既存施設を耐震改修する方法を優先的に検討いたします。</p>
33	全体	計画全般	<p>市役所の耐震化は早急に必要となると感じます。 原案を読んでも数字の意味することが難しく費用の少ないのはどの方法が良くわかりません。</p>	<p>既存施設を耐震改修する方法と、規模を小さくして建て替える方法で整備にかかるコストに大きな差はありません。一方、長期的なコストと比較した場合、建て替えた方が安価になることがわかりました。</p>
		計画全般	<p>市民会館は耐震改修が良い。解体されないことがわかり良かったと思います。</p>	<p>耐震改修を行うことを優先的に考えています。ただし、詳細な調査や基本設計を行った結果、建て替えと変わらない事業費が見込まれる場合は、費用対効果を踏まえて整備方法を再検討する必要があると考えます。</p>